



2023年12月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ
 コード番号 2160 URL <https://www.gnipharma.com>
 代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長兼CEO (氏名) イン・ルオ
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役CFO (氏名) 北川 智哉 (TEL) 03-6214-3600
 定時株主総会開催予定日 2024年3月28日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年3月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期の連結業績（2023年1月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	26,010	49.3	13,108	851.3	12,612	—	9,504	—	8,094	—	10,662	—
2022年12月期	17,418	37.3	1,377	△15.2	767	△30.6	△868	—	388	△63.5	187	△88.1

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年12月期	169.50	165.56	29.6	26.2	50.4
2022年12月期	8.19	8.11	2.0	2.4	7.9

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	62,394	36,052	33,794	54.2	678.01
2022年12月期	33,906	19,810	20,969	61.8	441.59

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年12月期	6,549	△6,842	10,686	21,633
2022年12月期	393	△4,116	△646	11,049

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年12月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年12月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,566	52.1	16,286	24.2	15,552	23.3	12,287	29.3	7,058	△12.8	141.60

上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料「1. 経営成績等の概況（5）今後の見通し」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社、（社名）Gyre Therapeutics, Inc.、Berkeley Biologics LLC
除外 1社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年12月期	49,857,243株	2022年12月期	47,487,843株
2023年12月期	13,526株	2022年12月期	1,391株
2023年12月期	47,752,120株	2022年12月期	47,473,964株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績予想に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料「1. 経営成績等の概況（5）今後の見通し」をご参照ください。

また、当社は、2024年2月20日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。その説明会資料は事前に開示し、また、質疑応答などの内容は、説明会開催後、速やかに開示する予定です。

※ 対前期（対前年同四半期）増減率について、当期（当四半期）・前期（前年同四半期）の一方もしくは両方がマイナスとなる場合や、増減率が1,000%以上となる場合は「-」を記載しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 研究開発活動	5
(5) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結財政状態計算書	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結持分変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(作成の基礎)	14
(セグメント情報)	15
(1株当たり利益)	19
(重要な後発事象)	20

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

2023年の世界経済は新型コロナウイルス感染症の厳戒態勢が和らぎ落ち着きを取り戻す一方で、中東情勢の緊迫化など、地政学的リスクが高まり予断を許さない状況が続いております。

わが国経済も新型コロナウイルス感染症の影響が一定の落ち着きを見せ、年末にかけて日経平均株価がバブル後の最高値を更新するなど、明るい材料がみられる一方で、円安による物価インフレが起り、収入上昇とのギャップ解消への対応が大きな課題として取り上げられております。

一方、株式会社ジーエヌアイグループ（以下「当社」）の属するバイオテクノロジー・セクター及び東証グロース市場におきましては、将来的な国内の金利上昇懸念の高まりから、総じて厳しい状況が続いております。

このような状況下ではありますが、当社及びその関係会社（以下合わせて「当社グループ」）は、大幅な増収増益を達成し、売上収益及び営業利益、当期利益のすべてにおいて過去最高を記録いたしました。また、将来の事業発展の布石として当社グループを挙げて従前取り組んできた幾つかのプロジェクトにおいて、重要な成果を挙げることができました。

医薬品事業におきましては、当社グループ主要子会社である北京コンチネント薬業有限公司（以下「BC」）は、引き続き主力製品であるアイスーリュイの販売が堅調に推移し、売上収益の増加に大きく寄与しました。また、2023年10月26日に開示いたしましたとおり、同社は、次期主力製品の有力候補であるF351（一般名：ヒドロニドン）の中国における第Ⅲ相臨床試験において、2023年内としていた予定を大幅に前倒しして被験者登録を完了し、現在、鋭意データの収集を進めております。そして、2023年10月31日に開示いたしましたとおり、米国ナスダック市場に上場するCatalyst Biosciences, Inc.（以下「CBI0」）との取引を成功裏に完了いたしました。CBI0は、Gyre Therapeutics, Inc.（以下「GYRE」）と名称を変更し、代謝障害関連脂肪肝炎（MASH: Metabolic Dysfunction Associated Steatohepatitis、以前はNASH: 非アルコール性脂肪肝炎と呼ばれていた疾患の病名が変更されたもので、上記日本語訳は仮称）向けの第Ⅱ相臨床試験を2024年中に米国で提出すべく、鋭意準備を進めております。更に、BCは、中国で築き上げた販売網を有効活用するため、ジェネリックのオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）の開発販売を始めております。

米国及び中国において独自の標的タンパク質分解誘導技術を活用した研究開発を推進している米国子会社Cullgen Inc.（以下「Cullgen」）は、2023年5月9日に開示いたしましたとおり、アストラゼネカ-CICCファンドをリード・インベスターとするシリーズC資金調達ラウンドで3,500万米ドルを調達いたしました。更に、2023年6月15日に開示いたしましたとおり、アステラス製薬株式会社（以下「アステラス製薬」）とは革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けて提携し、鋭意研究を進めております。この提携により、3,500万米ドルの契約一時金のみならず、毎月の安定的な収益源を獲得したため、Cullgenも黒字化を達成いたしました。この提携から、Cullgenは最大19億米ドルをアステラス製薬から受領する可能性があります。加えて、同社は、2023年7月31日に開示いたしましたとおり、抗がん剤候補であるTRK分解剤の第Ⅰ／Ⅱ相臨床試験を中国にて進めております。他の複数プログラムについても、臨床試験申請を目指して研究開発を推進しております。

医療機器事業につきましては、米国で生体材料事業に携わるBerkeley Advanced Biomaterials LLC（以下「BAB」）を筆頭に、業績は堅調に推移しております。2023年9月19日及び11月10日に開示いたしましたとおり、当社グループは、米国ナスダック市場上場のElutia Inc. からオーソバイオロジクス事業の一部を譲り受け、当該事業の拡大に努めております。

その他、2023年11月20日に開示いたしましたとおり、CVI Investments, Inc.（以下「CVI」）が第46回、47回新株予約権を全て行使し、またCVIに割り当てていた第48回新株予約権を当社が買い戻し、消却いたしました。その結果、当社は更なる成長に投資するための資金を確保すると共に、当社発行済株式の約9%に及ぶ潜在的な株式希薄懸念は全て払拭されております。

①セグメント別の経営成績

医薬品事業

当期は当社グループの主要子会社であるBCにおいて、その主力医薬品であるアイスーリュイの売上収益が現地通貨ベースでも引き続き最高を更新し、中国での売上収益が好調に成長した事に加え、Cullgenにおけるアステラス製薬とのタンパク質分解誘導剤創出共同開発に伴う3,500万米ドルの契約一時金及び毎月の共同開発費用売上収益が大きく寄与いたしました。当連結会計年度の医薬品事業の売上収益とセグメント利益は、それぞれ22,976,201千円（前年同期比53.3%増）、12,026,795千円（前年同期比2687.3%増）となりました。

医療機器事業

医療機器セグメントにおいても、堅調な業績となりました。2023年9月19日及び11月10日に開示いたしましたとおり、米国ナスダック上場のElutia Inc. からオーソバイオロジクス事業の一部を譲り受けました。当連結会計年度の医療機器事業の売上収益とセグメント収益は、それぞれ3,058,541千円（前年同期比21.3%増）、1,082,048千円（前年同期比14.3%増）となりました。

②販売費及び一般管理費ならびに研究開発費

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	差額
販売費及び一般管理費	△10,965,656	△15,292,839	△4,327,182
人件費	△3,636,074	△5,318,748	△1,682,673
研究開発費	△2,545,455	△2,557,803	△12,347

販売費及び一般管理費

当連結会計年度の販売費及び一般管理費は、15,292,839千円となり、前年同期比39.5%増となりました。主にBCにおける拡販体制の強化による販売・マーケティング費用の増加、CBIOとの取引に関連する法務費用及び取引完了後のGYREにおける諸経費の増加などによるものです。

研究開発費

当連結会計年度の円ベースの研究開発費は、中国におけるBC及びCullgenの研究開発の進展により、2,557,803千円、前年同期比0.5%増となりました。BCの研究開発費には、新規パイプラインに加え、新たなジェネリックのオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）の製品化に関する費用も含まれております。

③金融収益及び金融費用

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	差額
金融収益	259,835	771,527	511,692
金融費用	△869,887	△1,250,685	△380,798

金融収益

当連結会計年度の金融収益は、771,527千円、196.9%増となりました。主に円安による為替差益によるものです。

金融費用

当連結会計年度の金融費用は、1,250,685千円、43.8%増となりました。主にCullgenの財務活動に係る現金支出を伴わない利息費用です。

(2) 当期の財政状態の概況

連結財政状態

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	差額
資産合計	33,906,981	62,394,370	28,487,388
負債合計	14,096,013	26,341,592	12,245,578
資本合計	19,810,968	36,052,778	16,241,809

資産合計

当連結会計年度末における資産合計は、62,394,370千円、前年同期比84.0%増となりました。主に事業活動に伴う現金及び現金同等物の増加、企業結合によるのれんの増加によるものです。

負債合計

当連結会計年度末における負債合計は、26,341,592千円、前年同期比86.9%増となりました。主にCullgenの財務活動に係る現金支出を伴わない費用の計上によるものです。

資本合計

当連結会計年度末における資本合計は、36,052,778千円、前年同期比82.0%増となりました。主に売上収益の伸長による利益剰余金の増加、新株予約権行使に伴う株式発行による資本金・資本剰余金の増加によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	393,320	6,549,337	6,156,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,116,163	△6,842,661	△2,726,498
財務活動によるキャッシュ・フロー	△646,327	10,686,556	11,332,883

営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、6,549,337千円の収入、前年同期比1565.1%増となりました。主にBCの堅調な売上収益拡大、Cullgenのアステラス製薬との契約によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、6,842,661千円の支出、前年同期比比べて66.2%増となりました。主に事業譲受による投資支出、長期性預金の取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期の646,327千円の支出に対し、10,686,556千円の収入となりました。主に新株予約権行使による株式発行収入、CullgenのシリーズC優先株式発行収入によるものです。

(4) 研究開発活動

〔研究活動〕

当社グループの創薬研究では、Cullgenを中心に革新的な新規開発候補化合物（NCE）の開発を目指しております。Cullgenは、がん、疼痛、及び自己免疫疾患に対する酵素及び非酵素タンパク質を標的とした複数の新規化合物を含む創薬パイプラインの拡充のための研究開発を進めております。

2023年6月15日に開示いたしましたとおり、Cullgenはアステラス製薬と、革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及び独占的オプション契約を締結いたしました。本戦略的提携において、両社は新規E3リガンドを活用したCullgen独自の技術プラットフォームuSMITE™とアステラス製薬の創薬及び商業化能力を融合し、複数の標的タンパク質分解誘導剤の創出を目指します。Cullgenとアステラス製薬は臨床開発対象の化合物を見出すための共同研究を行い、アステラス製薬は見出された分解剤の開発及び商業化を担います。乳がんやその他の固形がんを対象として、アステラス製薬が同定したリードプログラムである細胞周期タンパク質に対する分解誘導剤候補化合物も含むアステラス製薬との共同研究は、順調に進展しております。

〔開発活動〕

■アイスリュイ〔中国語：艾思瑞®、英語：ETUARY®（一般名：ピルフェニドン）〕－BC

BCは、アイスリュイの適応を以下の疾患に拡大する臨床試験を遂行しておりますが、現時点ではF351の臨床試験を優先しております。

- ・糖尿病腎症（DKD）：第Ⅰ相完了、今後の進め方を中国当局と継続協議中
- ・結合組織疾患（CTD-ILD）を伴う間質性肺疾患（全身性硬化症（強皮症、SSc-ILD）と皮膚筋炎（DM-ILD））：第Ⅲ相臨床試験継続中
- ・じん肺治療薬（Pneumoconiosis, PD）：第Ⅲ相臨床試験継続中

■F351（一般名：ヒドロニドン）－BC及びGYRE

F351は肝繊維症向け治療薬候補として、当社グループの医薬品ポートフォリオにおける重要な創薬候補化合物であり、世界の主要医薬品市場へ臨床開発活動を拡大する戦略の重要な部分を占めております。F351は、アイスリュイの誘導体である新規化合物であり、内臓の線維化に重要な役割を果たす肝星細胞の増殖及び、TGF-β伝達経路を阻害します。

2021年3月17日に開示いたしましたとおり、F351は中国当局より肝線維症の画期的治療薬として申請することが認められました。これにより、F351について当局との協議が優先的に行われ、かつ、その協議結果を生かした臨床試験を進めることが可能となっております。

その後、2022年1月17日に開示いたしましたとおり、中国においてF351の第Ⅲ相臨床試験を開始しました。更に2023年10月26日に開示いたしましたとおり、2023年内としていた予定を大幅に前倒しして第Ⅲ相臨床試験の被験者登録を完了し、現在、鋭意データの収集を進めております。

米国においては、GYREが、代謝障害関連脂肪肝（MASH）向けの第Ⅱ相臨床試験の開始申請を、2024年度中に米国当局へ提出することを目標に鋭意、準備を進めております。MASHの治療薬として日米欧で承認された製品は、現時点ではまだ存在しません。

■F573（急性肝不全(ALF)・慢性肝不全急性時(ACLF)治療薬）－BC

F573はアイスリュイ及びF351に次ぐ3番目の創薬候補化合物として、カスパーゼを強く阻害する可能性を持つジペプチド化合物であり、急性肝不全（ALF）や慢性肝不全の急性増悪（ACLF）に関連して発生するアポトーシスや炎症反応に効果が期待される化合物です。2023年3月28日に開示いたしましたとおり、F573は第Ⅱ相臨床試験中です。

■CG001419（TRK分解剤）－Cullgen

CG001419は、神経栄養性チロシン受容体キナーゼ（NTRK）融合遺伝子陽性及びTRK過剰発現のがん（非小細胞肺がんや乳がん、膵臓がんを含む多くの固形がんに見られる）の治療に使用される、業界初の選択的かつ強力な標的タンパク質分解誘導剤を活用した経口剤です。2023年7月31日に開示いたしましたとおり、Cullgenは、TRK分解剤に対して、同社初となる臨床試験（第Ⅰ／Ⅱ相）を中国にて開始いたしました。

■ジェネリックのオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）－BC

BCは、中国において、慢性肝疾患による血小板減少症の治療薬であるアバトロンボパグマレイン酸塩（Avatrombopag Maleate）タブレットや、多発性硬化症の治療薬であるフィンゴリモド塩酸塩（Fingolimod Hydrochloride）カプセルなどの薬品の権利を導入し、新たなジェネリックのオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）として発売するべく、準備を進めております。

(5) 今後の見通し

2023年度に引き続き、2024年度も基幹事業である医薬品事業の売上収益及び利益が堅調に推移することを見込んでおります。BCは、アイスーリュイの中国における販売拡大を進めており、継続して当社グループを牽引することを想定しております。加えて、Cullgenにおきましては、研究開発が順調に進捗することを見込んでおります。

医療機器事業におきましては、米国で譲受したオーソバイオロジクス事業が、既存のBABと相まって、当社グループ売上収益に寄与することを見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は国際会計基準(IFRS)を適用しています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	3,951,217	5,238,673
使用権資産	755,167	814,513
のれん	6,047,721	17,261,275
無形資産	2,928,800	3,690,331
持分法で会計処理されている投資	622,476	360,821
繰延税金資産	184,171	304,436
その他の金融資産	2,270,162	3,793,224
その他の非流動資産	—	23,811
非流動資産合計	16,759,717	31,487,087
流動資産		
棚卸資産	1,693,412	2,330,622
営業債権及びその他の債権	3,122,463	3,973,476
その他の金融資産	196,543	1,577,274
その他の流動資産	1,085,535	1,392,881
現金及び現金同等物	11,049,310	21,633,028
流動資産合計	17,147,264	30,907,282
資産合計	33,906,981	62,394,370

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
負債及び資本		
非流動負債		
借入金	—	2,000,000
リース負債	157,744	150,276
繰延税金負債	546,790	1,173,159
その他の金融負債	9,706,958	15,139,232
その他の非流動負債	181,027	85,146
非流動負債合計	10,592,520	18,547,815
流動負債		
営業債務及びその他の債務	949,612	2,064,776
借入金	200,000	1,300,000
リース負債	179,611	249,158
未払法人所得税	1,179,254	2,187,700
その他の金融負債	7,225	49,010
その他の流動負債	987,788	1,943,131
流動負債合計	3,503,492	7,793,776
負債合計	14,096,013	26,341,592
資本		
資本金	10,893,070	13,052,056
資本剰余金	6,233,386	7,397,974
自己株式	△756	△15,302
利益剰余金	696,360	8,790,563
その他の資本の構成要素	3,147,631	4,569,122
親会社の所有者に帰属する持分合計	20,969,692	33,794,414
非支配持分	△1,158,724	2,258,363
資本合計	19,810,968	36,052,778
資本及び負債の合計	33,906,981	62,394,370

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

①連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	17,418,966	26,010,571
売上原価	△2,674,409	△3,579,396
売上総利益	14,744,556	22,431,175
販売費及び一般管理費	△10,965,656	△15,292,839
研究開発費	△2,545,455	△2,557,803
その他の収益	664,743	9,147,345
その他の費用	△520,248	△619,035
営業利益	1,377,939	13,108,843
金融収益	259,835	771,527
金融費用	△869,887	△1,250,685
持分法による投資損失	—	△16,936
税引前利益	767,887	12,612,748
法人所得税費用	△1,636,139	△3,108,669
当期利益 (△損失)	△868,252	9,504,078
当期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	388,825	8,094,202
非支配持分	△1,257,078	1,409,875
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり利益 (円)	8.19	169.50
希薄化後1株当たり利益 (円)	8.11	165.56

②連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
当期利益 (△損失)	△868,252	9,504,078
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,055,949	1,150,717
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	—	7,824
その他の包括利益合計	1,055,949	1,158,541
当期包括利益合計	187,696	10,662,620
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,811,272	8,916,299
非支配持分	△1,623,576	1,746,321

(3) 連結持分変動計算書

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2022年1月1日残高	10,884,332	6,224,649	△645	307,535	543,445	900,992	1,444,437
当期利益 (△損失)	—	—	—	388,825	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	1,422,447	1,422,447
当期包括利益合計	—	—	—	388,825	—	1,422,447	1,422,447
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—
新株の発行	8,737	8,737	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	276,230	—	276,230
新株予約権の発行	—	—	—	—	6,409	—	6,409
新株予約権発行費用	—	—	—	—	△1,892	—	△1,892
自己株式の取得	—	—	△111	—	—	—	—
所有者との取引額合計	8,737	8,737	△111	—	280,746	—	280,746
2022年12月31日残高	10,893,070	6,233,386	△756	696,360	824,192	2,323,439	3,147,631

	親会社の所有者 に帰属する持分		
	合計	非支配持分	資本合計
2022年1月1日残高	18,860,309	405,936	19,266,246
当期利益 (△損失)	388,825	△1,257,078	△868,252
その他の包括利益	1,422,447	△366,497	1,055,949
当期包括利益合計	1,811,272	△1,623,576	187,696
連結範囲の変動	—	58,915	58,915
新株の発行	17,475	—	17,475
株式報酬取引	276,230	—	276,230
新株予約権の発行	6,409	—	6,409
新株予約権発行費用	△1,892	—	△1,892
自己株式の取得	△111	—	△111
所有者との取引額合計	298,110	58,915	357,025
2022年12月31日残高	20,969,692	△1,158,724	19,810,968

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2023年1月1日残高	10,893,070	6,233,386	△756	696,360	824,192	2,323,439	3,147,631
当期利益	—	—	—	8,094,202	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	822,096	822,096
当期包括利益合計	—	—	—	8,094,202	—	822,096	822,096
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分 変動	—	△999,553	—	—	—	△80,129	△80,129
新株の発行	2,166,261	2,166,261	—	—	—	—	—
株式発行費用	△7,275	△7,275	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	755,072	—	755,072
新株予約権の発行	—	—	—	—	5,568	—	5,568
新株予約権発行費用	—	—	—	—	△7,124	—	△7,124
新株予約権の行使	—	—	—	—	△16,394	—	△16,394
新株予約権の消却	—	—	—	—	△35,872	—	△35,872
新株予約権の失効	—	—	—	—	△21,725	—	△21,725
自己株式の取得	—	—	△14,546	—	—	—	—
その他	—	5,155	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	2,158,985	1,164,587	△14,546	—	679,524	△80,129	599,394
2023年12月31日残高	13,052,056	7,397,974	△15,302	8,790,563	1,503,717	3,065,405	4,569,122

	親会社の所有者 に帰属する持分		
	合計	非支配持分	資本合計
2023年1月1日残高	20,969,692	△1,158,724	19,810,968
当期利益	8,094,202	1,409,875	9,504,078
その他の包括利益	822,096	336,445	1,158,541
当期包括利益合計	8,916,299	1,746,321	10,662,620
連結範囲の変動	—	591,083	591,083
支配継続子会社に対する持分 変動	△1,079,683	1,079,683	—
新株の発行	4,332,523	—	4,332,523
株式発行費用	△14,551	—	△14,551
株式報酬取引	755,072	—	755,072
新株予約権の発行	5,568	—	5,568
新株予約権発行費用	△7,124	—	△7,124
新株予約権の行使	△16,394	—	△16,394
新株予約権の消却	△35,872	—	△35,872
新株予約権の失効	△21,725	—	△21,725
自己株式の取得	△14,546	—	△14,546
その他	5,155	—	5,155
所有者との取引額合計	3,908,421	1,670,767	5,579,189
2023年12月31日残高	33,794,414	2,258,363	36,052,778

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	767,887	12,612,748
減価償却費及び償却費	521,666	608,422
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,092,192	324,379
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	559,902	6,280
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△205,446	145,761
賞与引当金の増減額 (△は減少)	26,260	16,212
金融収益及び金融費用	747,638	877,467
有価証券評価損益 (△は益)	349,276	291,808
関連会社株式を子会社株式に転換したことによる評価益等	—	△8,969,727
株式報酬費用	306,834	1,161,004
その他	△516,455	591,026
小計	1,465,371	7,665,385
利息の受取額	71,150	494,185
利息の支払額	△27,760	△30,795
法人所得税の支払額	△1,115,440	△1,579,438
営業活動による正味キャッシュ・フロー	393,320	6,549,337
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,164,533	△3,491,108
有形固定資産の取得による支出	△973,523	△1,273,154
有形固定資産の売却による収入	—	15,208
無形資産の取得による支出	△966,453	△802,823
差入保証金・敷金の増加による支出	△266	△3,831
差入保証金・敷金の減少による収入	450	1,203
貸付けによる支出	—	△59,460
貸付金の回収による収入	4,743	4,743
投資有価証券の取得による支出	△589,252	—
関連会社への投資による支出	△181,254	△140,670
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△246,073	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	954,505
事業譲受による支出	—	△2,047,274
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△4,116,163	△6,842,661
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500,000	1,100,000
長期借入れによる収入	—	2,000,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	4,287,054
新株予約権の発行による収入	6,409	798
非支配持分からの払込による収入	—	3,516,749
自己株式の取得による支出	△111	△38
リース負債の返済による支出	△152,624	△218,008
財務活動による正味キャッシュ・フロー	△646,327	10,686,556
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,066,346	190,485
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,302,823	10,583,717
現金及び現金同等物の期首残高	14,352,133	11,049,310
現金及び現金同等物の期末残高	11,049,310	21,633,028

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨の事項

当社グループの連結財務諸表は、国際会計基準審議会によって公表されたIFRSに準拠して作成しています。

当社グループは、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号)第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たしていることから、同第93条の規定を適用しています。

(2) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 未適用の新基準

本連結財務諸表の承認日までに公表されている基準書及び解釈指針の新設又は改訂のうち、当社グループが早期適用していないもので、重要な影響があるものはありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、創薬及び製造販売事業である医薬品事業及び、医療機器事業を展開しております。医薬品事業では、医薬品の研究開発、製造、販売及び受託研究などを行っており、医療機器事業では、生体材料を含む医療機器の研究開発、製造及び販売を行っております。

各報告セグメントの主要製品は次のとおりであります。

報告セグメント	会社名	主要製品
医薬品事業	株式会社ジーエヌアイグループ、北京コンチネント薬業有限公司、上海ジェノミクス有限公司、GNI Hong Kong Limited、上海ジェノミクステクノロジー有限公司、Cullgen (Shanghai), Inc.、GNI USA, Inc.、Cullgen Inc.、上海リーフ国際貿易有限公司、Gyre Therapeutics, Inc.	アイスーリュイ、医薬品開発、その他医薬品、試薬
医療機器事業	Berkeley Advanced Biomaterials LLC、マイクレン・ヘルスケア株式会社、Berkeley Biologics LLC	生体材料、医療機器 選任製造販売業者 (DMAH) および治験 国内管理人 (ICC) サービス

(2) 収益及び業績

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。

前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	14,991,354	2,427,611	17,418,966	—	17,418,966
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	93,750	93,750	△93,750	—
計	14,991,354	2,521,361	17,512,716	△93,750	17,418,966
セグメント利益	431,488	946,450	1,377,939	—	1,377,939
				金融収益	259,835
				金融費用	△869,887
				税引前利益	767,887

- (注) 1. セグメント間の内部売上収益又は振替額は、独立企業間価格に基づいております。
 2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
 3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益を用いております。

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
減価償却費及び償却費	406,008	115,658	521,666	—	521,666

当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
売上収益					
(1) 外部顧客への売上収益	22,976,201	3,034,369	26,010,571	—	26,010,571
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	—	24,171	24,171	△24,171	—
計	22,976,201	3,058,541	26,034,742	△24,171	26,010,571
セグメント利益	12,026,795	1,082,048	13,108,843	—	13,108,843
				金融収益	771,527
				金融費用	△1,250,685
				持分法による投資損失	△16,936
				税引前利益	12,612,748

- (注) 1. セグメント間の内部売上収益又は振替額は、独立企業間価格に基づいております。
 2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
 3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益を用いております。

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計		
減価償却費及び償却費	440,438	167,983	608,422	—	608,422

(3) 製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスについての外部顧客からの売上収益は以下のとおりになります。

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
アイスーリュイ	12,939,076	15,686,480
生体材料 (代替骨)	2,521,361	2,840,558
その他	1,958,527	7,483,532
合計	17,418,966	26,010,571

(4) 地域別に関する情報

前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位: 千円)

	日本	中国	米国	連結
外部顧客からの売上収益 (注1)	20,957	14,870,594	2,527,413	17,418,966
非流動資産 (2022年12月末) (注2)	344,754	5,193,027	8,145,124	13,682,906

(注1) 顧客の所在地に基づいて測定しております。

(注2) その他の金融資産、繰延税金資産、持分法で会計処理されている投資は含まれておりません。

当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 千円)

	日本	中国	米国	連結
外部顧客からの売上収益 (注1)	6,021,269	17,123,029	2,866,272	26,010,571
非流動資産 (2023年12月末) (注2)	306,483	7,048,392	19,673,729	27,028,605

(注1) 顧客の所在地に基づいて測定しております。

(注2) その他の金融資産、繰延税金資産、持分法で会計処理されている投資は含まれておりません。

(5) 主要な顧客に関する情報

前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位: 千円)

顧客の名称又は氏名	売上収益	関連するセグメント名
Sinopharm	4,596,597	医薬品事業
China Resources Pharmaceutical	880,834	医薬品事業
Stryker Spine	633,006	医療機器事業
Shanghai Pharma Kyuan	431,463	医薬品事業
OsteoRemedies	396,691	医療機器事業

(注) 前連結会計年度では、顧客は企業グループ毎にまとめて記載しております。

Stryker SpineはK2M, Inc.を含みます。

SinopharmはSinopharm Holdings Co., Ltd.、Sinopharm Holding Henan Co., Ltd.、

Sinopharm holdings Shandong Co., Ltd.、Sinopharm Holdings Shanxi Co., Ltd.等を

含みます。

当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 千円)

顧客の名称又は氏名	売上収益	関連するセグメント名
Astellas Pharma Inc.	5,804,973	医薬品事業
Sinopharm Holding Henan Co., Ltd.	2,147,804	医薬品事業
Sinopharm Medicine Holding Shaanxi Co., Ltd.	929,325	医薬品事業
China Resources Henan Pharmaceutical Co., Ltd	701,263	医薬品事業
Sinopharm Group Shandong Co., Ltd.	676,590	医薬品事業

(1株当たり利益)

基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は以下のとおりです。

(1) 基本的1株当たり当期利益

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益 (千円)	388,825	8,094,202
発行済普通株式の期中平均株式数 (株)	47,473,964	47,752,120
基本的1株当たり当期利益 (円)	8.19	169.50

(2) 希薄化後1株当たり当期利益

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益 (千円)	388,825	8,094,202
発行済普通株式の期中平均株式数 (株)	47,473,964	47,752,120
希薄化効果の影響調整:		
ストック・オプション (株)	457,152	1,138,640
希薄化効果後期中平均株式数 (株)	47,931,116	48,890,760
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	8.11	165.56

(重要な後発事象)

(CVI Investments, Inc. からの当社連結子会社 Cullgen Inc. の株式取得)

(1) 取引の概要

当社グループは、2023年11月20日に完了しましたCVI Investments, Inc. (以下「CVI」) による第46回および第47回新株予約権の行使を調達資金とし、2024年1月11日にCVIが保有するCullgen Inc. の株式を全て取得いたしました。

(2) 取得した株式の総数及び株式取得前後の保有割合の状況

- | | |
|--------------|------------|
| ① 取得日 | 2024年1月11日 |
| ② 取得した株式の総数 | 4,819,278株 |
| ③ 取得前の株式保有割合 | 33.18% |
| ④ 取得後の株式保有割合 | 40.28% |

(3) 取得価額

具体的な取得価額は、CVIとの守秘義務により非開示といたします。

(連結子会社GNI USA, Inc. に対する債権のGyre Therapeutics, Inc. 株式による回収)

(1) 取引の概要

当社グループでは当社の連結子会社GNI USA, Inc. (以下GNI USA) を通じてBerkeley Advanced Biomaterials LLCやCullgen Inc. へ投資しており、それらの投資に当たり、当社からGNI USAへ2015年に7百万米ドル(内3.9百万米ドルが2023年12月末時点で未回収)、2017年に35百万米ドルの貸付を行いました。

当社は、2024年2月2日にGNI USAが保有するGyre Therapeutics, Inc. の普通株式を受領することにより、その債権に対するGNI USAからの回収を完了いたしました。

(2) 取得した株式の総数及び株式取得前後の保有割合の状況

- | | |
|-------------|-----------------------------------------|
| ① 取得日 | 2024年2月2日 |
| ② 取得した株式の総数 | 3,958,739株 (1株当たり12.37米ドル、2024年1月31日終値) |

(3) 業績影響

2023年12月期において、GNI USAに対する長期貸付金は純投資とみなしているため、為替変動による影響額は、連結上資本に計上しておりました。当該長期貸付金の回収により、2024年12月期連結業績の利益に与える影響額は約17億円になる見込みです。